

平成26年6月30日
消 防 庁

平成26年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）

平成26年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

個人4名、団体3団体

（受賞者名等は、別添の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者内閣総理大臣表彰は、毎年7月1日を「国民安全の日」とし、「国民の一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図る」という趣旨に基づき、行われているものです。

安全功労者内閣総理大臣表彰式

- （1）日 時 7月1日（火）11時30分～11時45分
- （2）場 所 総理大臣官邸大ホール
- （3）出席予定者 内閣総理大臣、消防庁長官他



連絡先
消防庁総務課
小谷政策評価広報官・野村係長
TEL 03(5253)7521 内線 42171
FAX 03(5253)7531

平成26年

安全功労者内閣総理大臣表彰

受賞者名簿

(消防関係)

平成26年7月

消 防 庁

平成26年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者

個人の部

- 荻野 末子（奈良県・奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会会長）

- 小池 大一（東京都・武蔵野防火管理研究会会長）

- 嶋山 國利（福岡県・大川市防災協会会長）

- 矢橋 慎哉（岐阜県・大垣危険物安全協会会長）

団体の部

- 長洲防災会（兵庫県）

- 藤島婦人防火クラブ（青森県）

- 普代村婦人消防協力隊（岩手県）

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	おぎの すえこ 荻 野 末 子
住 所	奈良県奈良市
職 業 等	無職 (奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会会長)
功 績 の 概 要	奈良県女性防火・防災クラブ連絡協議会会長等として、奈良県下の防災リーダーとして、防災意識の高揚と地域の防災組織リーダー養成を目的とした講習会を毎年開催するとともに、一人暮らし高齢者家庭への防火訪問活動や、住宅用火災警報器の普及率向上のために県内の主要駅前での街頭啓発活動に取り組むなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	こいけ たいち 小 池 大 一
住 所	東京都武蔵野市
職 業 等	株式会社壽楽専務取締役 (武蔵野防火管理研究会会長)
功 績 の 概 要	武蔵野防火管理研究会会長等として事業所の防火管理体制の向上を目的に武蔵野消防署と緊密な情報交換を行い、自衛消防隊訓練審査会を毎年開催し、自衛消防技術の向上と事業所の安全を図るとともに、路線バスの中吊り広告や独自に作成した啓発資材の配布による広報活動、消防法改正に伴う説明会を実施などの多面的な活動により、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	しぎやま くにとし 嶋 山 國 利
住 所	福岡県大川市
職 業 等	株式会社シギヤマ家具工業取締役会長 (大川市防災協会会長)
功 績 の 概 要	大川市防災協会会長等として、毎年他市企業への視察による防火・防災危機管理体制の研修・調査研究を行い、その結果を反映した市内企業の防火・防災危機管理体制の強化を図るとともに、市内の小学生を対象に消防についての副読本の配布や、防火ポスターの募集及び表彰を行うなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	やばし しんや 矢 橋 慎 哉
住 所	岐阜県大垣市
職 業 等	矢橋工業株式会社取締役会長 (大垣危険物安全協会会長)
功 績 の 概 要	大垣危険物安全協会会長等として、危険物取扱者試験予備講習、危険物取扱者試験特別講習を年3回、危険物取扱者保安講習を年2回実施して危険物取扱者の資質向上に尽力するとともに、危険物災害防止のための啓発ポスター・防火安全手帳を配布し事故防止対策を周知するほか、ビデオによる企業の安全管理教育、危険物の保安管理を推進するなど、防火防災思想の普及と危険物安全管理を通じて地域に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	ながすぼうさいかい 長洲防災会
所 在 地	兵庫県尼崎市
代 表 者	しげむら ひさひこ 会長 重 村 久 彦
功 績 の 概 要	昭和62年の発足以来、自主防災組織として毎年秋に防災パレードを実施し、放火火災の防止や住宅用火災報知器の設置等の広報を行うとともに、地域の防災訓練に積極的に参加し、所轄の消防署・消防団と連携して毎年自主的な総合訓練の実施、独自の講習会の開催、可搬ポンプによる実践的な放水訓練を行うなど、他の自主防災組織の模範となっており、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	ふじしまふじんぼうか 藤島婦人防火クラブ
所 在 地	青森県十和田市
代 表 者	たなか むつこ 委員長 田 中 睦 子
功 績 の 概 要	昭和62年の発足以来、消防本部が開催する研修会・講習会に積極的に参加し、防火防災知識及び技能の習得と向上を目指し、また、防火研修会・救命講習会等を企画するとともに、町内家庭の戸別訪問や道の駅における啓発資材の配布による住宅用火災警報器設置促進の広報活動を行うなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	ふだいむらふじんしょうぼうきょうりょくたい 普代村婦人消防協力隊
所 在 地	岩手県下閉伊郡普代村
代 表 者	やまざき じゅんこ 隊長 山 崎 順 子
功 績 の 概 要	昭和38年の組織再編以来、初期消火活動の重要性を広く普及させるため、消防職員・消防団員と共に一般家庭を訪問し防火点検を実施し、消火器や住宅用火災報知器の設置促進を図るとともに、林野火災防止のために入山者や林野周辺地域住民に対して山火事防止の警戒・広報活動を行うなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。